

Appendix Datamap 006

名称	森林系バイオマス（富良野圏域における低質材量）		全道版	地域版
			-	○
目的	富良野圏域での木質系のバイオマス利用で想定される「低質材」の集荷可能量			
内容 [数値の単位]	富良野圏域のカラマツ・トドマツ人工林施業で発生する低質材供給可能量[m ³ /年]			
データ年	平成24(2012)年～平成28(2016)年			
計算法 (概要)	<p>木質バイオマスの原料となる低質材丸太の供給可能量は、以下の数式により算出した。</p> $B = \sum_{n=1}^3 k_x \cdot k_y \cdot f \cdot m \cdot p \cdot V_n$ <p>ただし、 B：富良野圏域のカラマツ、トドマツ人工林における低質材の潜在的集荷可能量（m³/年） ky：当該小班を伐採するなら1、しない場合は0をとるダミー変数 kx：小班が設定した運材距離内にあれば1、ない場合は0をとるダミー変数 f：伐採率（間伐なら0.3、主伐なら1.0と仮定） m：造材歩留まり（0.75と仮定） p：出材した丸太に含まれる低質材の割合（林齢に応じて0.2～1.0となる） Vn：小班単位での所管別林分蓄積（m³/年）</p> <p>なお、 n=1：民有林 n=2：道有林 n=3：国有林</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済性を考慮するため、チップ工場に低質材を運搬すると仮定し、工場と林地の距離に応じて出材対象とするかを決定できるようにした。 ・森林資源の持続性を前提とするため、引用元データNo.1～3を基にした市町村別に森林資源の長期予測結果及び引用元データNo.4～7での伐採材積と比較上で森林蓄積を50年間維持できる伐採材積を計算し、上記の計算を行った。 			
季節変動	なし			
対象地域	富良野圏域の5市町村（上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村）			
構築データ（メタデータ）				
形式	シェープファイル	ポイント	8KB	
区域単位	市町村	CC BY-4.0		
引用元データ			全道版	地域版
1	一般民有林 林小班区間及び森林資源データ 【北海道水産林務部森林計画課】	2016	-	-
2	上川南部森林計画区森林調査簿及びGISデータ 【北海道森林管理局上川南部森林管理署】	2016	-	-
3	道有林森林調査簿及びGISデータ 【北海道水産林務部上川南部森林室】	2016	-	-
4	上川の民有林2017【北海道上川総合振興局産業振興部林務課】	2017	-	-
5	人工林の市町村別伐採計画量（年平均）【北海道森林管理局】 http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/keikaku/other/H27jinnk_ourinnbaxtusaikeikaku.html	2012 2017	-	-
6	国有林野事業統計(北海道森林管理局管内)【北海道森林管理局】 http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/statistics/kyoku/arc/170607.html	2013- 2017	-	-
7	齢級別伐採量【北海道水産林務部森林計画課 オープンデータ】 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srk/OPD.htm	2015- 2017	-	-
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・引用元データ1については、一部はオープンデータとして公開されています（http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srk/OPD.htm）。 ・引用元データ1～3の資料の入手については、右記にお問合せください。 			問い合わせ
				林2